

平戸

令和2年 8月31日
横浜市立 平戸 小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町 542 番地
Tel.045-821-2329



環境が花の色を変える

学校長 菅原 久忠

夏休みが終わり、学校を再開して2週間が過ぎました。酷暑の中、子どもたちは、登下校時のサポート隊の皆様をはじめ、校外委員の皆様や見守り活動をしていただいている保護者の皆様の笑顔に見守られて登校してきました。ありがとうございます。現在も予想を超える気温の上昇から目が離せない日々が続いておりますが、熱中症への対策と新型コロナウイルス感染症予防とのバランスを図りながら取り組みます。

さて、例年よりも梅雨が長く続きましたが、その頃、学校の敷地にある紫陽花の花がみずみずしく咲いていました。同じ場所なのに以前とは花の色が異なっているなどと思い、閉庁期間中に紫陽花の花について調べてみました。その結果、「紫陽花の花の色は土の濃度によって決まる。紫陽花に含まれるアントシアニンという色素と、土に含まれているアルミニウムによって、青や紫、ピンクになる。」ということを知りました。敷地の中で気になった紫陽花の花の色が昨年と異なっていたかは今となっては確かめることができませんが、敷地の木々や植物について、子どもたちと一緒に話題にしていくきっかけにしようと思いました。

昨年より、地域にお住まいの松原様に野菜づくりや米づくりを教えていただいています。8月24日（月）の給食では、畑で2年生が収穫したじゃがいもを使用した「じゃがいものソテー」がメニューに加わりました。このじゃがいもの苗は、学校再開時に学習に生かせるよう、緊急受け入れで登校していた児童と松原様、職員が植えた後、2年生が生活科の学習で育ててきました。

現在、給食も始まり、ほぼ平常授業となっています。しかし、感染症の心配がある以上、学校生活のすべてが元通りというわけにはいかず大変悩ましいところです。予定されていた教育活動をすべて「中止」とするのではなく、新しい生活様式とのバランスを模索しながら対策を講じ、子どもたちが少しでも生き生きと活動し、紫陽花のようなみずみずしい花を咲かせることができるよう学習の環境を整えていきます。